

建築工房 樹の会 環境行動計画

平成21年6月17日

環境への取組方針

建築工房 樹は、建築一式総合建設業を営んでおります。私たちは環境にやさしい住みよい住宅、次世代住宅を目指し、当社の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組めます。

- ① 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ② 資源の有効な利用を図ります。
- ③ 省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます。
- ④ 省エネ改修促進事業、長期優良住宅促進事業の提案・普及に努めます。
- ⑤ 省エネ機器の提案・普及に努めます。

平成21年6月17日

建築工房 樹

代表 石田 茂樹

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標一1</p>	<p>廃棄物の排出量（売上当たり）を、20年を基準にして23年までに産業廃棄物を0.6（m^3/百万円）、一般廃棄物を0.7（m^3/百万円）に削減する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（一般廃棄物の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新しい製品パンフレットを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。 ② 社内資料は、両面コピー、裏紙利用に努めてから捨てる ③ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する ④ ごみの分別を徹底し、リサイクルに努める <p>（産業廃棄物の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の分別を細かくし、ゴミ箱を設置する（紙類、木くず、空き缶、ペットボトルは分別を徹底する） ② 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する ③ 木くずは蒔きとして加工し再利用に努める ④ 業者が出したゴミは持ち帰ってもらう

<p>目標一2</p>	<p>二酸化炭素の排出量（売上当たり）20年を基準として23年までに180（$\text{kg} \cdot \text{CO}_2$/百万円）に削減する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度（28度）と暖房温度（20度）を厳守する ② エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを掃除する ③ 事務所を空ける時は、消灯、パソコン、コピー機の電源OFFを徹底 <p>（車両の使用に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 車の燃費を考えて、燃費の良い車をできるだけ乗るようにする ② アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける

目標一3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、20 年を基準として 25 年までに 0.14k g / 百万円に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料やFAXは、パソコン画面上での確認を徹底する ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、担当者が四半期ごとに取組み目票の進行状況と具体的な取組みの実施状況をチェックします。